

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 松尾凜奈

1. はじめに

私は国際交流基金の助成を受け、2021年3月9日から3月13日までの5日間、「大阪薬科大学専用プログラム カナダ オンライン留学 医療英語・施設視察コース」に参加いたしました。このプログラムでは、オンライン上で医療英語、クリニックや薬局の見学を行い、また現地の医療関係者の方から話をお伺いしました。これらから様々な学びがありましたので、報告致します。

2. 医療通訳講座

医療通訳講座では、カナダの医療制度、病院の受付及び薬局で用いる英語について学習しました。カナダの医療制度の講座では、医療費に関する事、受診の流れなどを教わりました。受診の流れは日本と異なり、かかりつけ医が定着しており、クリニック・検査所・総合病院の分業が明瞭なことに驚きました。検査所や総合病院での結果はかかりつけ医にも報告されます。コロナ禍では「かかりつけ医に相談」という言葉をよく耳にしました。しかし、日本ではかかりつけ医がいないという人も多く、相談するのが困難なことが少なくありません。カナダのようにかかりつけ医が長期的にモニターし、患者よく理解している環境が日本にはない強みだと思いました。病院の受付及び薬局で用いる英語は日本語と英語を交えた形式で理解しやすい講座でした。プログラムの参加者同士で薬剤師役・患者役になりロールプレイも行いました。患者の問診や服用方法の説明を英語で話し、薬剤師として働く時実際に使える表現が多いので意欲が高まる講座でした。

3. カナダ医療施設紹介

カナダ医療施設紹介では、クリニック・薬局の紹介や医療通訳の場面、医師へのインタビューを視聴しました。クリニックには、診察室のほかにマッサージルーム・カウンセリングルームがあり、緊張性頭痛やストレス、悩みのある患者に対応しています。薬局では、薬剤師のほかに、ファーマシーテクニシャンやファーマシーアシスタントが働いています。薬やサプリメント、化粧品など、日本の薬局と似たものを取り扱います。カナダの薬局は予防接種を行うこと、カナダの気候は乾燥しているため保湿剤を多く扱うことが特徴です。クリニック・薬局見学では日本とカナダの違いを感じ、それぞれの良さがわかりました。また、オンライン診療に医療通訳士が参加するロールプレイングを見学しました。医師へのインタビューは事前収録した動画を拝見しました。カナダでモルヒネが合法化されたことや国ごとの患者の違いなど、医師の考えを伺いました。日本ではモルヒネは合法化されていないため、別視点からの考えを聞き理解がさらに深まりました。精神疾患が昨今増えているのではないかと医師に質問すると、適切に治療を受けられる人が増えたという答えには非常に納

得し、精神疾患に対する理解が必要だと思いました。

4. 医療・薬局英語

医療・薬局英語の講義は、全て英語で行われました。痛みの表現、薬の剤形など様々な英語を学習しました。事前にテキストが配付されたため、予習をしっかりと行った状態で講座に臨むことができました。専門用語も多く、聞き取る事に苦戦し、始めは上手くいかないと感じていました。それでもチャットを用いてサポートしていただいたり、自分から聞き返してみたりする事、次第に理解ができるようになりました。自分では英語の語彙が少なく苦手意識もありましたが、わからない言葉を他の知っている言葉で説明する、文章ではなく単語だけでも伝えることでコミュニケーションが取れ、自信ができました。また薬に関する事を英語で学習するため、新たに知識が増えました。服薬指導の理由や薬の用法を説明する表現を学べたことが良かったです。この講座を通して、英語の語彙・薬の知識が充分ではないと実感し、これからもっと勉強が必要だと思いました。

5. ゲストスピーカー

今回のプログラムでは、カナダで活躍されている薬剤師・自然療法医の方のお話を伺いました。まず、薬剤師の方から、カナダでの薬剤師の仕事を教えていただきました。カナダでは「ファーマネット」というシステムがあり、病院や薬局から患者の今までに処方された薬を閲覧できます。患者はお薬手帳を持ち運ぶ必要がなく、OD や薬の相互作用を管理できます。併用禁忌の場合は画面が赤くなり、処方を薬剤師が必ず確認します。また、薬剤師が注射及び処方を行えるのが特徴です。日本にはないシステムや仕事内容が非常に興味深かったです。また、やりがいと責任感を強く持ち働いているのが非常に伝わってきました。次に、カナダの自然療法医の方から自然療法について教えていただきました。カナダでは公認された自然療法医が、多方面から1人の患者を包括的に診断します。食事・生活習慣、植物療法、ホメオパシーなど様々な手法を用い個別の医療を行うため、症状の改善及び予防にも効果的です。医療費の問題からも予防・健康増進が求められる中、自然療法について学べてよかったです。また、カナダではPLV CODES が普及しており、化学肥料や農薬を使っている作物がわかりやすく表示されています。それにより摂取する物を意識的に確認できるのが良いと思いました。

6. 最後に

今回オンライン留学プログラムに参加し、非常に短い期間ではありましたが充実した時間を過ごせました。楽しみながら、意欲的に勉強できたことを非常にうれしく思います。カナダと日本の医療での違いだけでなく、他の国のことももっと知りたいと思いました。この留学を機に英語の勉強を継続したいと思います。